

## 平成 18 年度第 5 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 18 年 11 月 14 日 (火) 14 時 00 分 ~ 18 時 00 分

2. 場 所 関西大学総合図書館会議室

3. 出席者 (順不同、敬称略)

京都大学人間環境学研究科・総合人間学部図書館	辰野 直子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	赤崎 久美
和歌山県立医科大学図書館	南方 政英
姫路獨協大学図書館	梶浦美千子
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司
同志社大学総合情報センター	西山 智紗
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	杉山 宗武
関西学院大学図書館	中村 順治
オブザーバー	
関西大学総合図書館	赤木 一夫

4. 議 事

第 4 回能力開発専門委員会議事概要について確認が行われた後、初任者研修実施準備について検討を行った。

1) 平成 18 年度基礎研修 (初任者研修) 実施準備状況確認 (項番は役割分担表による)

1 - 運営委員会関係について

運営委員の予定について確認が行われた。閉会挨拶は行わない予定であるが、大埜運営委員長に再確認する旨、杉山主査から説明があった。

1 - 研修者への連絡について

石定委員より、13 日中に班別名簿および受講者へのお知らせを送付したこと、及び名札も作成済みであるとの説明があった。

1 - 講師等への連絡について

インターネットが使用できること、及び講師打合せの際の旅費について連絡する必要があるとの説明が鹿田委員からあった。

1 - 会場準備について

本日、会場確認の上、掲示物を作成する予定である旨、辰野委員から説明があり、また、録音機器についても本日確認する旨、西山委員から説明があった。

1 - 配布資料について

13 日に印刷に出し、16 日には完成予定である。120 部作成することとし、20 日に関西大学へ到着するよう発送するとの説明が赤崎委員からあった。資料を入れる封筒について検討の結果、封筒は使用しないこととした。

1 - 情報交換会について

予算は 16 万円で、48 名で 17:30 開始で予定している旨、赤木氏より説明があった。

なお、本日、会場確認を行うこととした。

1 - 会計について

当日、講師への旅費の支払いを行うので金額の確認を行う必要がある旨、南方委員から説明があった。また、当日、経費を会計担当へ渡すこと、配布資料の作成費は赤崎委員に立て替えをお願いすることの確認が行われた。

1 - 領収書について

既に作成は完了しており、本日、情報交換会費の領収書に印鑑を押印し、参加費の領収書についても今週中に押印する予定である旨、辰野委員から説明があった。

2 - 当日受付について

これから受付用名簿を作成する。現金を扱うため、受付を離れる必要もあるかと思われるので、同志社大の蜂須賀氏に受付の手伝いをお願いしてはどうか、また会計担当者にも受付に加わってもらいたい旨、辰野委員より提案があった。

2 - 会場設営等について

これから掲示物の作成を行う。また、班別討議の発表会の設営については、班別討議の間に行うことの確認があった。

2 - 講師等への対応について

第一会議室を講師控室とし、会計担当の南方委員、近江委員のどちらかが待機することが確認された。また、講師用ペットボトルの用意も会計担当委員が行うこととなった。

2 - 連絡対応について

全員で臨機応変に対応することとした。

2 - 司会について

経歴の紹介は、有川、渡邊両先生について行うことが確認された。また、両先生については、配布資料と当日資料が異なるとのことであるので、当日資料をコピーする必要があるとの指摘があった。

2 - アンケートについて

西山委員の作成した原案に中村委員の修正を加えた資料について検討を行った。講師へフィードバックするためには、個別の研修ごとに評価してもらう形式にする方がよいのではないかという意見が出され、個別研修ごとに評価を聞くか、全体として評価してもらい、合わせて印象に残った講義を上げてもらうことにするか、どちらがよいか今週中にメーリングリストで意見を出すこととした。また、性別、年代を問う項目は削除することとした。

2 - 情報交換会について

最初は班別討議の班ごとに集まってもらうこととした。途中で会場校挨拶をしてもらうかどうか、会場校に打診することとした。また、受講者に発言してもらってはどうかという意見も出されたが、時間の関係で略すこととした。

また、予算計画の確認も行われた。

2 - 記録について

デジタルカメラについては南方委員、西山委員が、ICレコーダについては赤崎

委員が持参することとした。記録担当者が受付の担当にもなるので、石定委員が記録の援助をすることとなった。テープ録音については、西山委員がスケジュールを作成中との報告があった。

## 2) 班別討議について

続いて班別討議の進め方について検討が行われ、以下の点が確認された。

- ・ 22 日昼に講師、専門委員で進め方の打合せを行う。
- ・ 応募用紙に記入してもらった自己紹介等の内容は、石定委員が資料にして、初日の講義終了後、班別に集まって配布する。
- ・ 班別討議での自己紹介は名前のみとし、司会、記録、発表担当者には集まって座ってもらう。
- ・ 最初に 3 人程度に提案をしてもらい、それに従って討議を行う。
- ・ 専門委員は補助として会場に立ち会うこととし、担当は次のとおりとする。  
1 班 梶浦委員    2 班 近江委員    3 班 杉山委員  
4 班 中村委員    5 班 南方委員
- ・ 発表については、各班ごとに発表と担当講師のコメントを行い、各 5 分内、1 班あたり計 10 分内とする。最後に各講師の全体コメントと質疑応答に 20 分を当て、最後の総括は渡邊講師にお願いする。
- ・ テーマについて、スキルアップが個人のものなのか、図書館としてのものなのか分かりにくいとの意見が出されたが、広く考えてどちらととらえてもよいこととする。

## 3) その他

- ・ 図書館見学については会場校に検討をお願いすることとした。
- ・ 情報交換会の会場見学を行った。

以 上